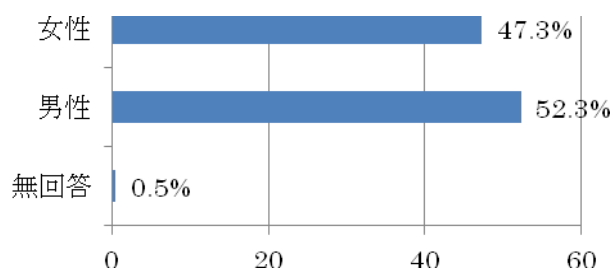


平成 28 年度静岡県多文化共生に関する基礎調査  
(日本人調査)

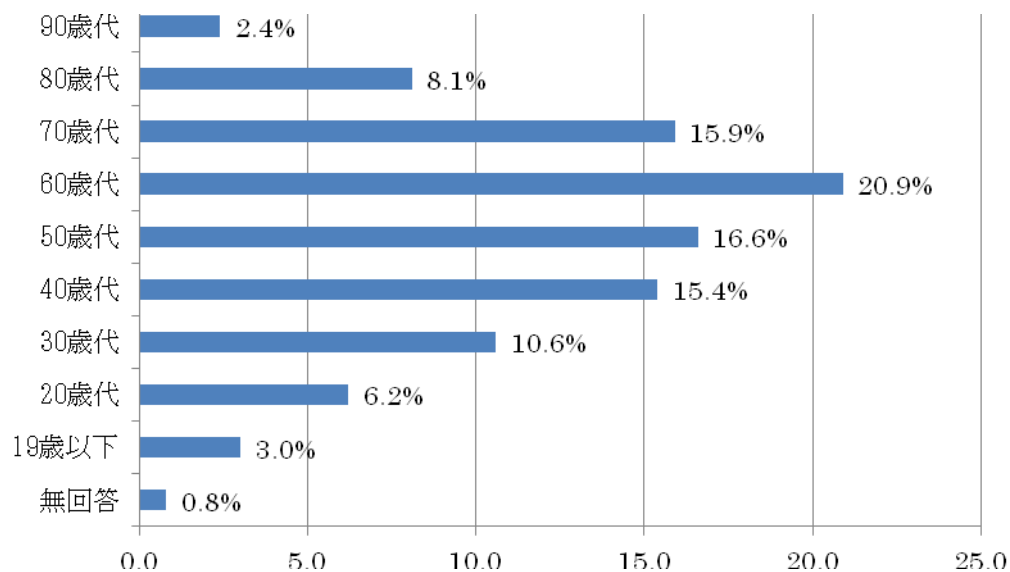
日本人調査は2,000部送付した。そのうち未達分の9部(0.5%)を差し引いた1,991部を配布数(a)とする。回収数は879部(b)であり。回収率(b/a)は44.1%であった。以下では回収数の879部のうち有効回答数874部を母数として各選択肢の比率を示している。

## 【1】基本属性(1)性別・年齢・居住地等

問1 あなたの性別について教えてください。

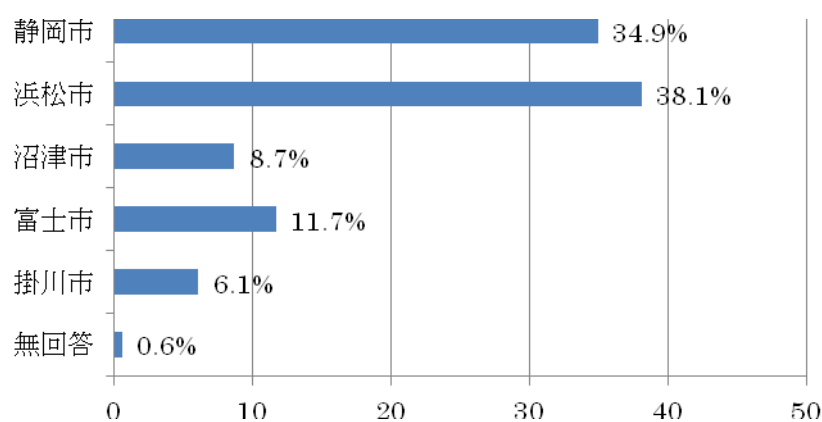


問2 あなたの年齢について教えてください。



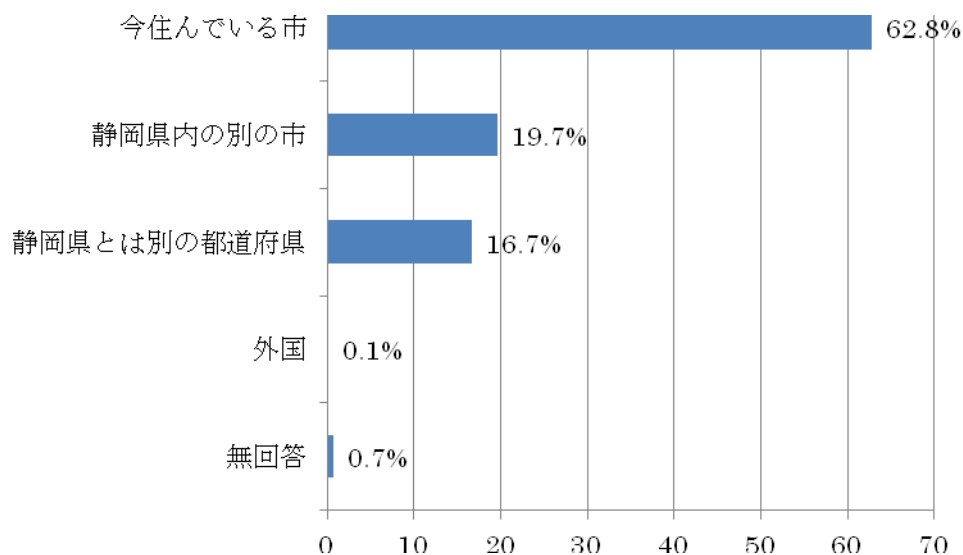
性別については男性が52.3%、女性が47.3%で、回答者は男性のほうが若干多かった(性別の無回答は0.5%)。年齢についてみると、60代が最も多く20.9%、次いで50代が16.6%となっており、50代と60代の回答者で約4割を占める。次いで70代が15.9%、40代が15.4%である。

問3 あなたが居住する市町を教えてください。



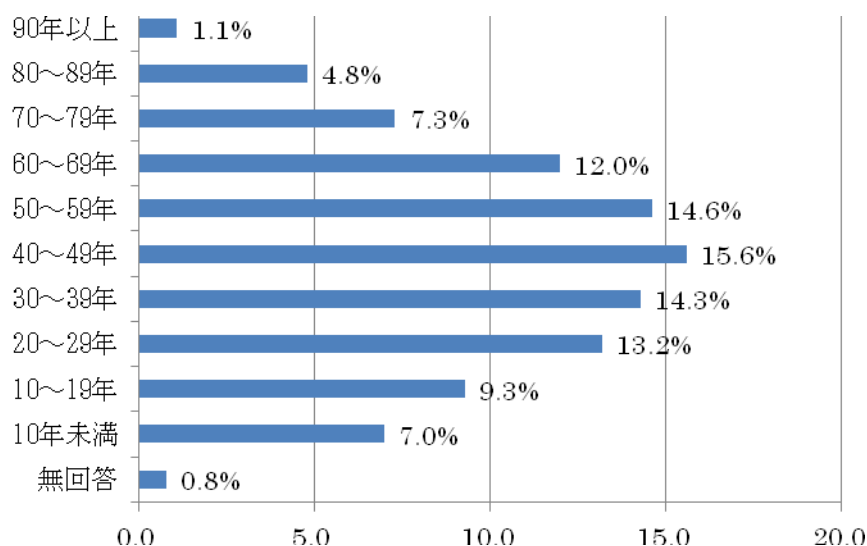
現在居住している市について尋ねたところ、浜松市が 38.1% で最も多く、静岡市の 34.9% がそれに続く。富士市が 11.7%、沼津市が 8.7%、掛川市が 6.1% であり、無回答が 0.6% だった。

問4 あなたが子どものころ（16歳まで）、主にどこに住んでいましたか。



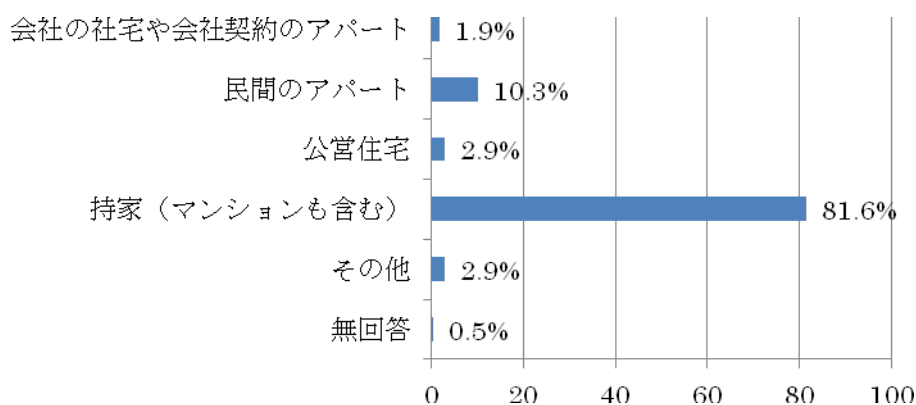
子どものころ、主に居住していた場所についての質問に対しては、「今住んでいる市」が 62.8% で圧倒的に多く、「静岡県内の別の市」も 19.7% と続く。日本人回答者の場合、8割以上が県内出身者であり、地理的流動性が低い傾向がうかがわれる。

問5 あなたは、今お住まいの市に通算で何年住んでいますか。



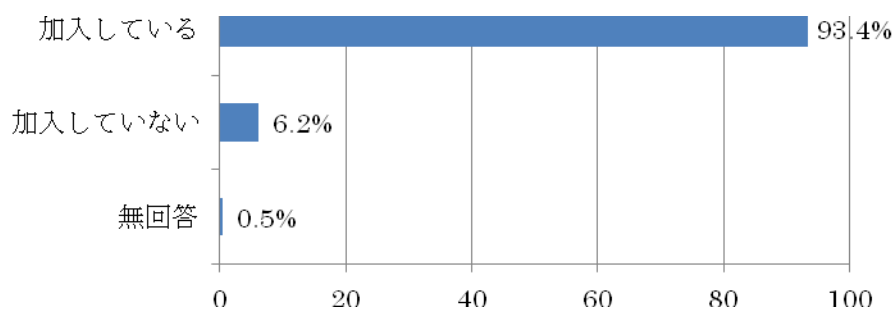
さらに現在の市での居住年数を記入してもらったところ、0-9年は7.0%、10-19年は9.3%であるのに対し、20-29年が13.2%、30-39年が14.3%、40-49年が15.6%、50-59年が14.6%という分布となっている。60年を越える居住年数の回答者も25.2%で四分の一を占める。20年以上の長期間、同じ市に居住している回答者が多いと言ってよいだろう。

問6 あなたの現在のお住まいはどれにあたりますか。



次に住まいについて尋ねると、持家（マンションも含む）が81.6%であることが分かる。民間のアパートは10.3%、公営住宅は2.9%で、8割以上が持家に住む回答者であった。

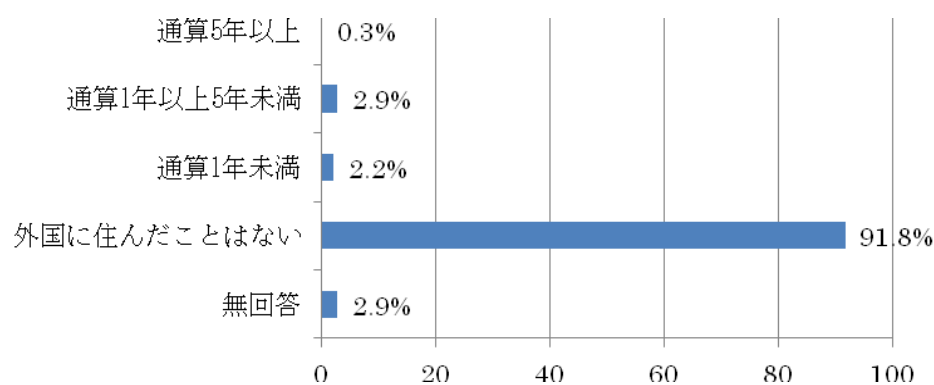
問7 あなた（あなたの世帯）は自治会に加入していますか。



持家居住者が8割を越えることから想像がつくように、自治会に加入している世帯は93.4%と9割を超えている。

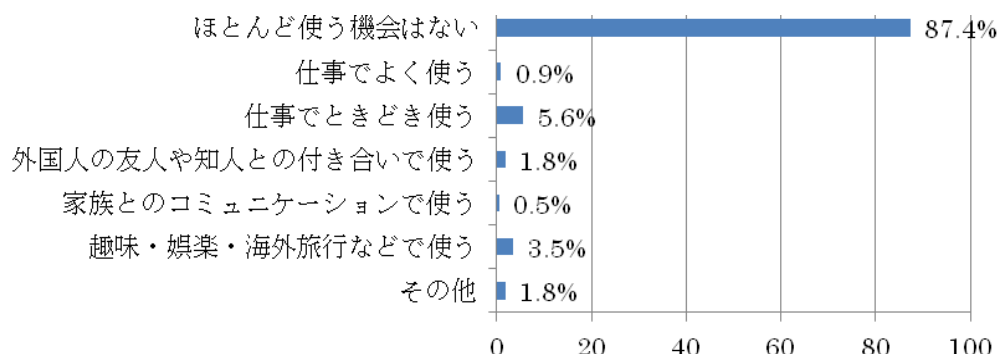
## 【2】多文化共生に関わること

問8 あなたは外国に住んだことがありますか。外国に居住経験のある人は、外国に通算何年住んでいましたか。



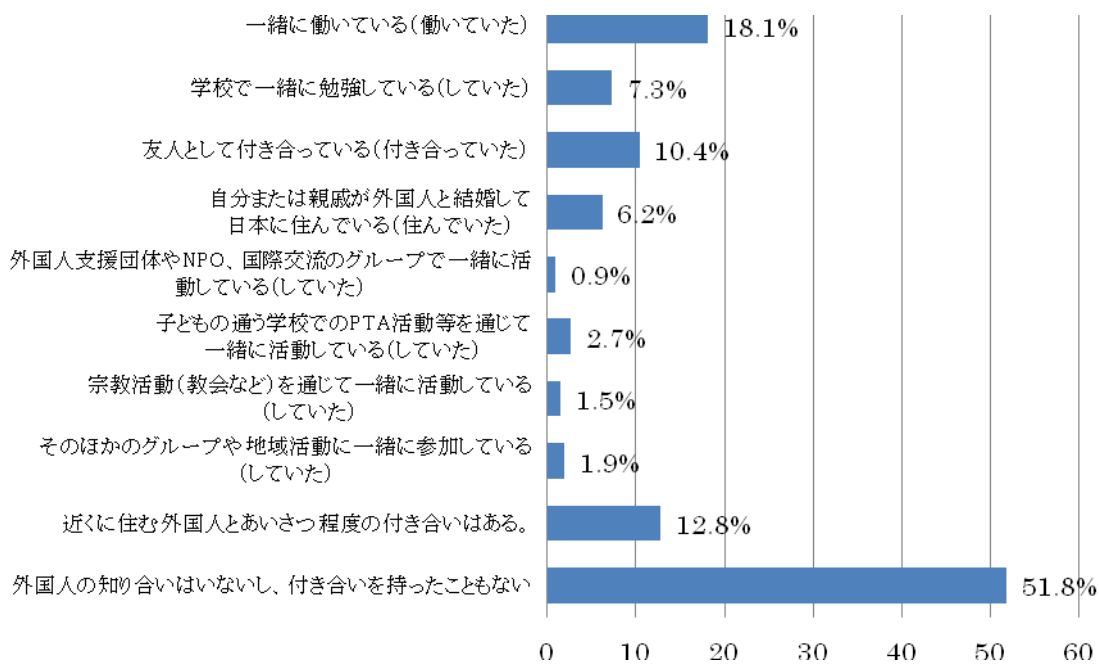
まず外国での居住経験を尋ねた。その結果、91.8%が外国に住んだことはないと回答している。外国居住歴が1年以上5年未満との回答は2.9%、1年未満との回答も2.2%あったが、回答者の圧倒的多数は外国での居住経験がない。つまり外国において生活者として暮らした経験を持たないことが分かる。この傾向は前回2009年調査とほとんど変わっていない。

問9 あなたは、日常生活や仕事で英語を使いますか。



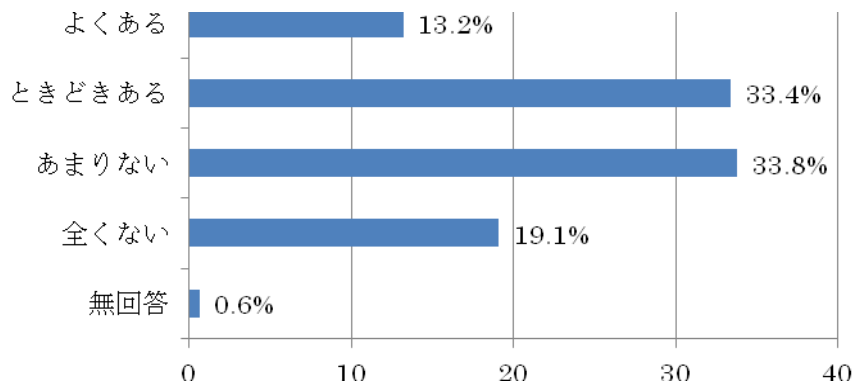
次に日常生活や仕事で英語を使うかどうか尋ねたところ、87.4%が「ほとんど使う機会はない」と回答している。「仕事でときどき使う」が5.6%、「仕事でよく使う」が0.9%ということから、仕事においても使う機会がほとんどないことがわかる。

問10 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(複数回答)



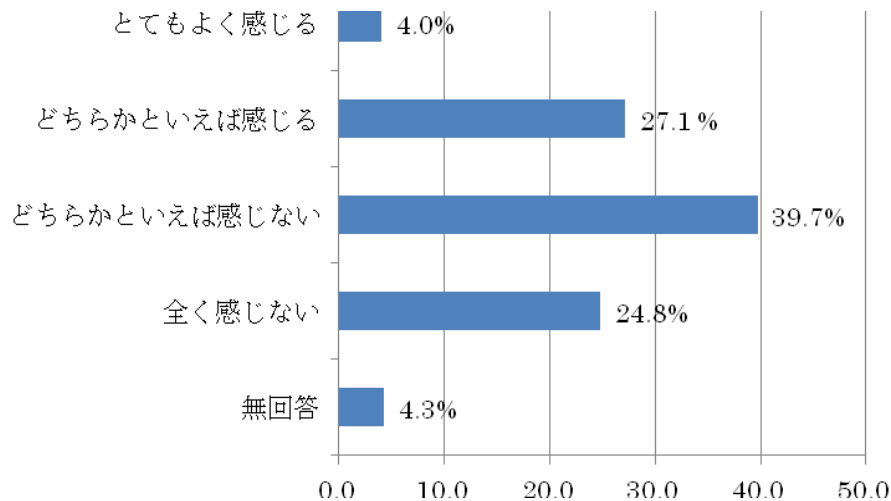
様々な局面での外国人との付き合いの有無（過去の経験を含む）を複数回答で答えてもらった。最も回答が多かったのは「知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない」という選択肢で、回答者の51.8%は外国人との直接的な付き合いの経験がないことが分かる。付き合いがあるとの回答の中では、職場が一緒との回答が18.1%で最も多く、あいさつ程度が12.8%でそれに続く。一方、友人としての付き合いが1割いる点にも注目したい。

問11 あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくありますか。



生活している地域で外国人と顔を合わせる機会については、「あまりない」が33.8%、「ときどきある」が33.4%で、この両方で6割以上を占める。

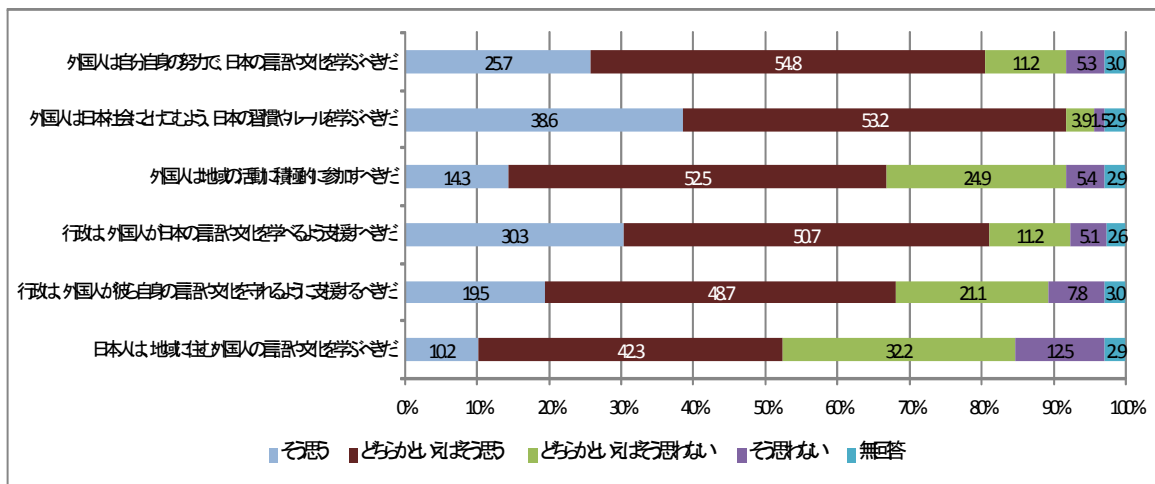
問12 地域で暮らす外国人について、どの程度親しみを感じますか。



地域で暮らす外国人についてどの程度親しみを感じるかについて尋ねた。最も多かったのは、「どちらかといえば感じない」という回答で39.7%だった。「まったく感じない」の24.8%を合わせると否定的な回答が6割を超える。一方、「とてもよく感じる」が4.0%、「どちらかといえば感じる」が27.1%で肯定的な回答が約3割である。肯定的な回答は否定的な回答の半分となっている。前回2009年調査では、「どちらかと言えは感じない」が20.1%、「まったく感じない」が13.3%であったから、今回は否定的回答が増えている。

問13 多文化共生に関する次の意見について貴方はどう思いますか。

- (1) 外国人は自分自身の努力で、日本の言語や文化を学ぶべきだ
- (2) 外国人は日本社会にとけこむよう、日本の習慣やルールを学ぶべきだ
- (3) 外国人は地域の活動に積極的に参加すべきだ
- (4) 行政は、外国人が日本の言語や文化を学べるよう支援すべきだ
- (5) 行政は、外国人が彼ら自身の言語や文化を守れるように支援するべきだ
- (6) 日本人は、地域に住む外国人の言語や文化を学ぶべきだ



(1) 外国人は自分自身の努力で、日本の言語や文化を学ぶべきだ

多文化共生に関する意見(1)

Q13_1	度数	%	累積度数	累積%
無回答	26	3.0	26	3.0
そう思う	225	25.7	251	28.7
どちらかといえばそう思う	479	54.8	730	83.5
どちらかといえばそう思わない	98	11.2	828	94.7
そう思わない	46	5.3	874	100.0

多文化共生に関する様々な意見についてどう思うかを尋ねた。外国人自身の努力で日本語や日本文化の理解を深めるべきとする「同化主義」的な考え方については、「どちらかといえばそう思う」との回答が 54.8%で最も多かった。また「そう思う」との回答も 25.7%で多数を占めた。ほぼ 8 割が外国人自身の努力での日本語・日本文化理解を求めている。

前回 2009 年調査では、「どちらかといえばそう思う」が 44.1%、「そう思う」が 25.7%で、「同化主義」的な考え方はほぼ 7 割だったから、今回はこうした考え方の回答が増加した。



## (2) 外国人は日本社会にとけこむよう、日本の習慣やルールを学ぶべきだ

### 多文化共生に関する意見(2)

Q13_2	度数	%	累積度数	累積%
無回答	25	2.9	25	2.9
そう思う	337	38.6	362	41.7
どちらかといえばそう思う	465	53.2	827	94.5
どちらかといえばそう思わない	34	3.9	861	98.4
そう思わない	13	1.5	874	99.9

日本の社会にとけこむよう、日本の習慣やルールを学ぶべきとの意見は圧倒的多数から支持された。「どちらかといえばそう思う」が 53.2%、「そう思う」が 38.6%で 9 割以上が同意している。この問いについては前回 2009 年調査と回答傾向に大きな差は認められなかった。

## (3) 外国人は地域の活動に積極的に参加すべきだ

### 多文化共生に関する意見(3)

Q13_3	度数	%	累積度数	累積%
無回答	25	2.9	25	2.9
そう思う	125	14.3	150	17.2
どちらかといえばそう思う	459	52.5	609	69.7
どちらかといえばそう思わない	218	24.9	827	94.6
そう思わない	47	5.4	874	100.0

その一方、地域参加については必ずしもほぼ全員が参加を求めているわけではないことがうかがえる。「どちらかといえばそう思う」が 52.5%でほぼ半数、「そう思う」との意見も 14.3%に達するが、「どちらかといえばそう思わない」との意見が 24.9%、さらに「そう思わない」という明確な拒否も 5.4%ある。つまり、地域参加を求めない（あるいは歓迎しない）者が 3 割いることがわかる。日本の習慣や地域ルールを守るよう求めるが、地域の仲間としてのかかわりは求めないという考え方の人が一定数いることがうかがえる。

前回 2009 年調査では「どちらかといえばそう思わない」が 19.9%、「そう思わない」が 4.0%で約 25%が地域参加の受け入れに消極的だった。今回はその傾向が若干強まったことがうかがえる。

#### (4)行政は、外国人が日本の言語や文化を学べるよう支援すべきだ

##### 多文化共生に関する意見(4)

Q13_4	度数	%	累積度数	累積%
無回答	23	2.6	23	2.6
そう思う	265	30.3	288	32.9
どちらかといえばそう思う	443	50.7	731	83.6
どちらかといえばそう思わない	98	11.2	829	94.8
そう思わない	45	5.1	874	99.9

日本語や日本文化を学ぶ機会について行政が援助すべきとする「社会統合」的な考え方については、50.7%が「どちらかといえばそう思う」と回答し、続いて30.3%が「そう思う」と回答している。つまり、ほぼ81.0%が行政の援助が必要との見解を示している。

前回2009年調査では「どちらかといえばそう思う」が46.7%、「そう思う」が26.2%で、72.9%が行政の支援に肯定的だったから、今回は行政支援による社会統合に対する肯定意見の比率が高まったと言える。

#### (5)行政は、外国人が彼ら自身の言語や文化を学べるよう支援すべきだ

##### 多文化共生に関する意見(5)

Q13_5	度数	%	累積度数	累積%
無回答	26	3.0	26	3.0
そう思う	170	19.5	196	22.5
どちらかといえばそう思う	426	48.7	622	71.2
どちらかといえばそう思わない	184	21.1	806	92.3
そう思わない	68	7.8	874	100.1

行政が外国人自身の言語や文化を守るよう援助すべきとする「多文化主義」的な考え方については、「どちらかといえばそう思う」が48.7%で最も多かった。さらに「そう思う」と回答した19.5%を合わせると、約7割が日本で暮らす外国人（あるいはその子どもたち）が自らの言語や文化を学ぶことに対する行政の支援を肯定的に捉えている。

この項目は前回2009年調査との対比が顕著である。前回は「そう思う」12.1%、「どちらかといえばそう思う」38.5%で肯定的意見が50.6%、「どちらかといえばそう思わない」32.7%、「そう思わない」11.4%で否定的意見が44.1%で、肯定的意見と否定的意見がほぼ同率だった。しかし、今回は約7割が肯定的意見である。これは外国人の定住化の進展に伴い、子どもたちの母語の継承が大切であることを重視する日本人が増えたためと理解できる。

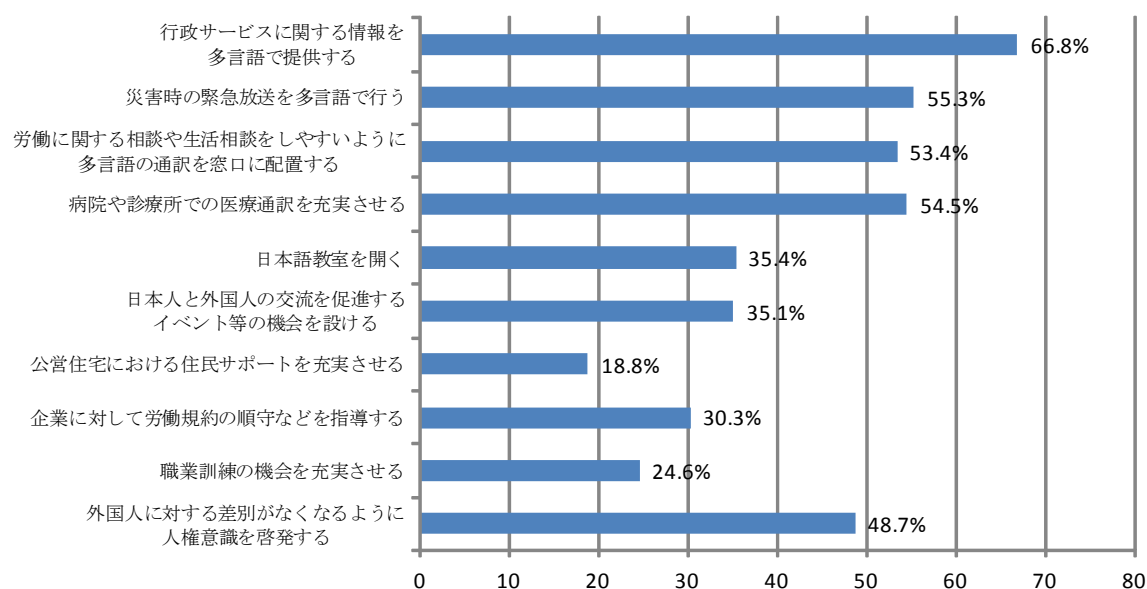
## (6)日本人は、地域に住む外国人の言語や文化を学ぶべきだ

### 多文化共生に関する意見(6)

Q13_6	度数	%	累積度数	累積%
無回答	25	2.9	25	2.9
そう思う	89	10.2	114	13.1
どちらかといえばそう思う	370	42.3	484	55.4
どちらかといえばそう思わない	281	32.2	765	87.6
そう思わない	109	12.5	874	100.1

受け入れ側の日本人が外国人の言語や文化を学ぶべきとの意見については、賛成と反対が拮抗している。反対の意見が44.7%存在するが、賛成の意見が52.5%と若干上回る。日本人側が外国人の言語や文化を学ぶ必要性についても理解が広がりつつあると言える。

### 問14 日本人住民と外国人住民が共に暮らしやすい地域社会にしていくために、県や市町など行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか（複数回答）

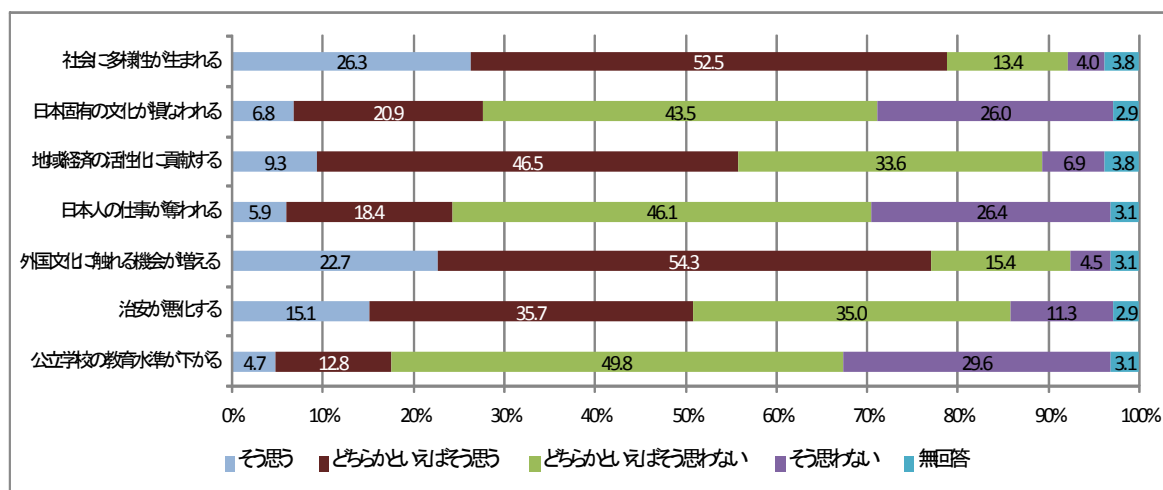


日本人住民と外国人が共に暮らしやすい社会にしていくために、県や市町など行政がどのような取り組みに力を入れるべきかを複数回答で答えてもらった。

行政が力を入れるべき取り組みとして最も多くの回答があったのは、「行政サービスに関する情報を多言語で提供する」で66.8%だった。5割前後で回答があったものは、「災害時の緊急放送を多言語で行う」が55.3%、「病院や診療所での医療通訳を充実させる」が54.5%、「労働に関する相談や生活相談をしやすいように多言語の通訳を窓口配置する」が53.4%、「外国人に対する差別がなくなるように人権意識を啓発する」が48.7%であった。

他方、4割以下で回答が少なかったのは、「日本語教室を開く」が35.4%、「日本人と外国人の交流を促進するイベントの等の機会を設ける」が35.1%、「企業に対して労働規約の遵守などを指導する」が30.3%、「職業訓練の機会を充実させる」が24.6%、「公営住宅における住民サポートを充実させる」が18.8%だった。情報の多言語化に対するニーズの高さがうかがえる。

#### 問15 外国人住民が増加することによる影響についてあなたはどのように思いますか。



次に様々な局面について日本に外国人が増えるとどのような影響があると思うか尋ねた。

#### (1)社会に多様性が生まれる

##### 外国人住民が増加することによる影響(1)

Q15_1	度数	%	累積度数	累積%
無回答	33	3.8	33	3.8
そう思う	230	26.3	263	30.1
どちらかといえばそう思う	459	52.5	839	82.6
どちらかといえばそう思わない	117	13.4	839	96.0
そう思わない	35	4.0	874	100.0

まず社会・文化面の影響について回答結果をまとめたい。外国人増加の影響として、社会に多様性が生まれるという点については「どちらかといえばそう思う」が52.5%で半数以上の回答となっている。「そう思う」の26.3%と合わせると、ほぼ8割が多様性について肯定的な見通しを持っていることがわかる。

## (2)日本固有の文化が損なわれる

### 外国人住民が増加することによる影響(2)

Q15_2	度数	%	累積度数	累積%
無回答	25	2.9	25	2.9
そう思う	59	6.8	84	9.7
どちらかといえばそう思う	183	20.9	647	30.6
どちらかといえばそう思わない	380	43.5	647	74.1
そう思わない	227	26.0	874	100.1

日本固有の文化が損なわれるとの見通しについては、43.5%が「どちらかといえばそう思わない」と回答した。また「そう思わない」も26.0%と多い。7割が日本固有の文化が損なわれるとは考えていないことが分かる。「どちらかといえばそう思う」との回答も20.9%あるが、外国人の増加と日本固有の文化が損なわれることを結びつけない人が多い。

## (3)地域経済の活性化に貢献する

### 外国人住民が増加することによる影響(3)

Q15_3	度数	%	累積度数	累積%
無回答	33	3.8	33	3.8
そう思う	81	9.3	114	13.1
どちらかといえばそう思う	406	46.5	814	59.6
どちらかといえばそう思わない	294	33.6	814	93.2
そう思わない	60	6.9	874	100.1

次に経済面の影響について尋ねた。地域経済の活性化に貢献するとの見通しについては、「どちらかといえばそう思う」が46.5%、「そう思う」が9.3%であり、肯定的意見が55.8%に達している。前回2009年調査では肯定的意見が41.0%だったから、肯定的意見を持つ者が大幅に増えたことがわかる。

## (4)日本人の仕事が奪われる

### 外国人住民が増加することによる影響(4)

Q15_4	度数	%	累積度数	累積%
無回答	27	3.1	27	3.1
そう思う	52	5.9	79	9.0
どちらかといえばそう思う	161	18.4	643	27.4
どちらかといえばそう思わない	403	46.1	643	73.5
そう思わない	231	26.4	874	99.9

日本人の仕事が奪われるとの影響を懸念する意見については、「どちらかといえばそう思わない」が46.1%で最も多かった。「そう思わない」との回答が26.4%でそれに続く。つまり日本人の仕事が奪われるとは必ずしも思っていない人が全体の72.5%に及んでいる。

前回2009年調査では、「どちらかといえばそう思わない」が36.1%、「そう思わない」が25.7%で合計61.8%だったから、今回は外国人の増加で日本人の仕事が奪われると考えない人が増加したと言える。外国人の定住化が進み長期滞在の外国人が増えているが、それは日本人の雇用を脅かすものではなく、むしろ日本人が参入しない就労現場で外国人が働き、経済を支えている事実が広く知られてきたためと思われる。

#### (5)外国文化に触れる機会が増える

##### 外国人住民が増加することによる影響(5)

Q15_5	度数	%	累積度数	累積%
無回答	27	3.1	27	3.1
そう思う	198	22.7	225	25.8
どちらかといえばそう思う	475	54.3	835	80.1
どちらかといえばそう思わない	135	15.4	835	95.5
そう思わない	39	4.5	874	100.0

外国文化に触れる機会が増えるという影響については、54.3%が「どちらかといえばそう思う」と回答している。「そう思う」との回答も22.7%あり、77.0%が外国文化に触れる機会が増えると評価している。

前回2009年調査では「そう思う」20.2%、「どちらかといえばそう思う」38.0%、合計58.2%だったから、外国文化に触れる機会が増えると考える人が大幅に増加したことがわかる。

#### (6)治安が悪化する

##### 外国人住民が増加することによる影響(6)

Q15_6	度数	%	累積度数	累積%
無回答	25	2.9	25	2.9
そう思う	132	15.1	157	18.0
どちらかといえばそう思う	321	35.7	784	53.7
どちらかといえばそう思わない	306	35.0	784	88.7
そう思わない	99	11.3	874	100.0

治安の悪化については、「どちらかといえばそう思う」が 35.7%、「どちらかといえばそう思わない」が 35.0%であった。「そう思う」が 15.1%、「そう思わない」が 11.3%であり、肯定的意見と否定的意見とで回答が分かれた。

しかし、前回 2009 年調査と比較すると興味深い事実が浮かび上がる。前回は「そう思う」28.7%、「どちらかといえばそう思う」43.6%で治安悪化を懸念する人が 72.3%に達していた。今回は懸念する人は 50.8%に減っている。一方、前回は「どちらかといえばそう思わない」18.7%、「そう思わない」7.1%で懸念と結びつけない人はわずか 25.8%だった。今回は外国人増加を治安悪化と結びつけない人は 46.3%で前回より大幅に増えている。定住化の進展に伴い生活者として地域になじむ外国人が増えてきたことを反映していると理解できよう。

### (7) 公立学校の教育水準が下がる

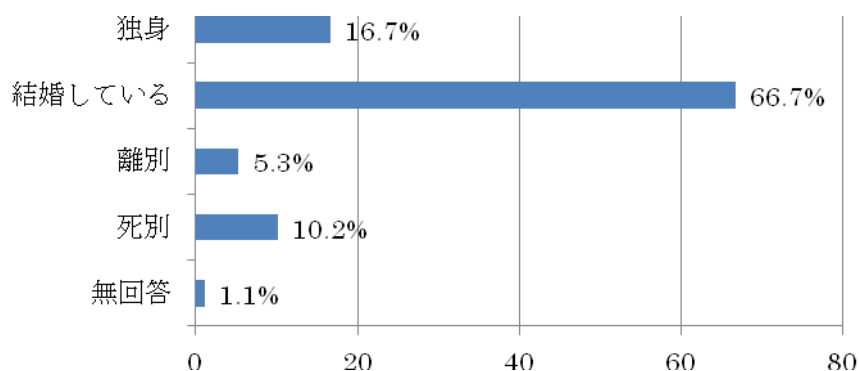
#### 外国人住民が増加することによる影響(7)

Q15_7	度数	%	累積度数	累積%
無回答	27	3.1	27	3.1
そう思う	41	4.7	68	7.8
どちらかといえばそう思う	112	12.8	615	20.6
どちらかといえばそう思わない	435	49.8	615	70.4
そう思わない	259	29.6	874	100.0

公立学校の教育水準が下がるとの懸念に関しては、「どちらかといえばそう思わない」が 49.8%であった。続いて「そう思わない」が 29.6%であり、否定的意見が多かった。

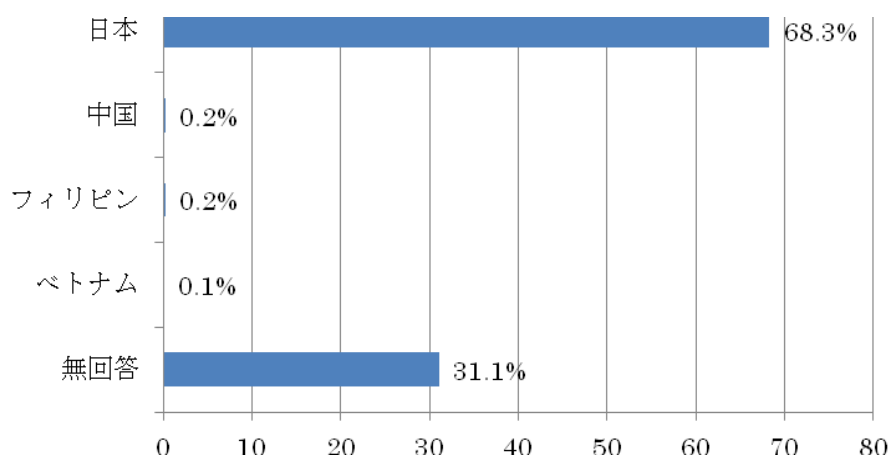
### 【3】基本属性（2）配偶状況・就労等

#### 問 16 現在、あなたは結婚されていますか。



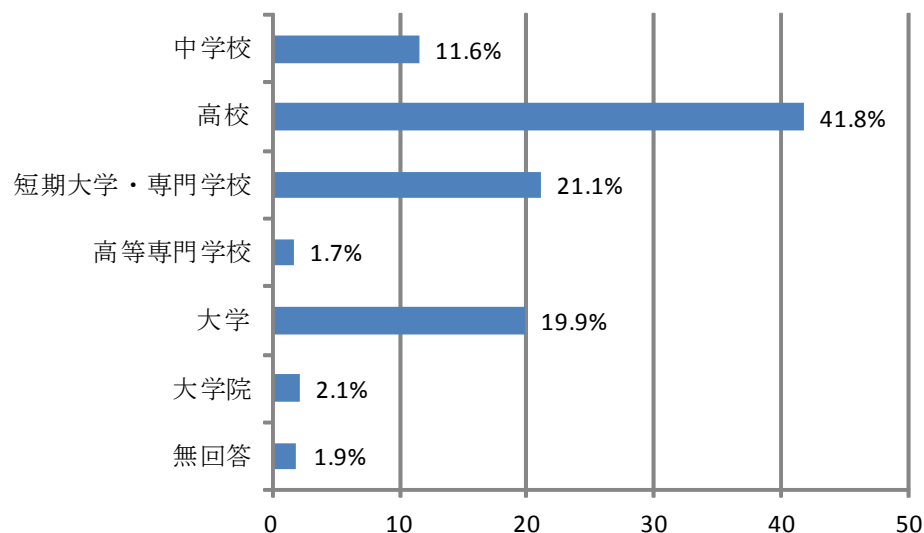
配偶状況については「結婚している」が 66.7%で最も多く、「独身」16.7%、「死別」10.2%と続く。

問17 配偶者がいる方にうかがいます。配偶者の方の国籍を教えてください。



配偶者の国籍は日本が68.3%、日本以外は5人で0.5%である。その内訳をみると中国とフィリピンが2人ずつ、ベトナムが1人だった。ただし、国籍を無回答の272人を除外し母数を602人として計算すると、配偶者が日本人とする回答者が99.2%となる。

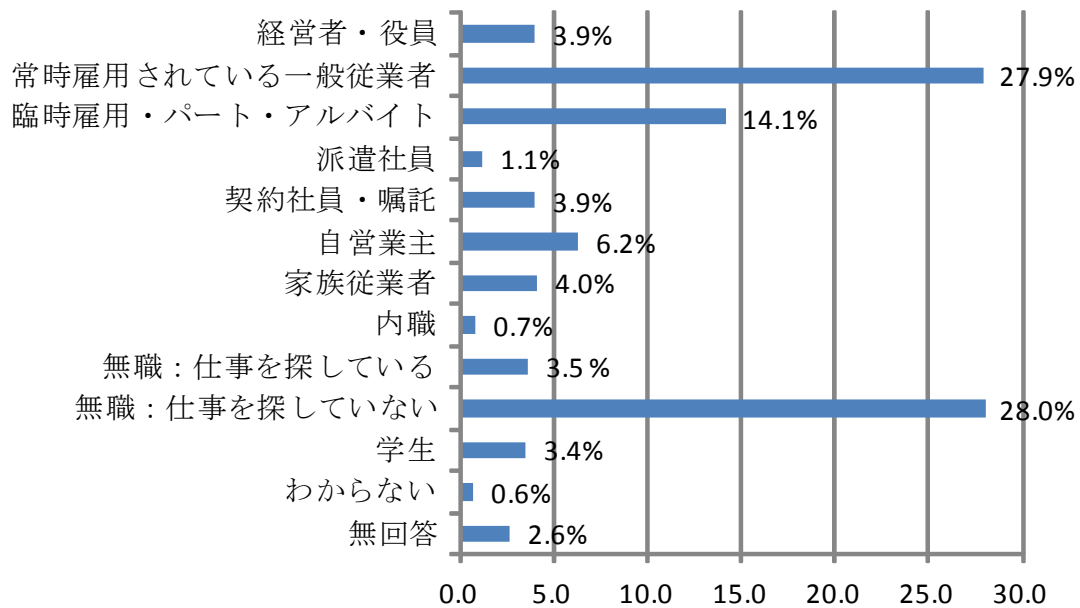
問18 あなたが最後に行かれた学校は、次のどちらにあたりますか。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。在学中の方は現在通っている学校をお答えください。



学歴については、高校が41.8%で最も多く、短期大学・専門学校が21.1%、大学が19.9%となっている。

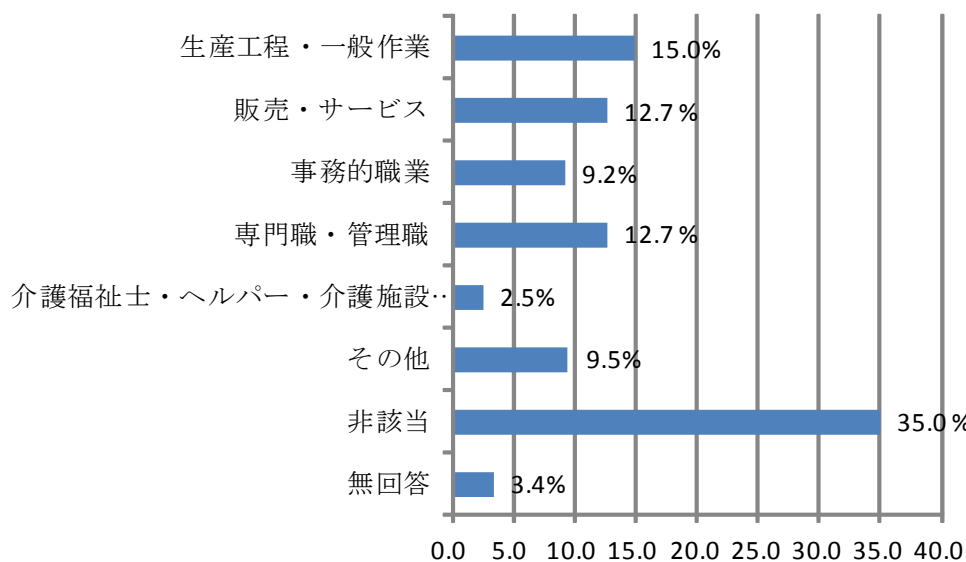
問19 あなたの現在のお仕事は大きく分けて次のどれにあたりますか。





仕事をしている人に対して従業上の地位について尋ねたところ、非労働力（無職：仕事を探していない）が28.0%、正社員（常時雇用されている一般従業者）が27.9%と回答があった。次に多かったのは臨時雇用・パート・アルバイトで14.1%だった。

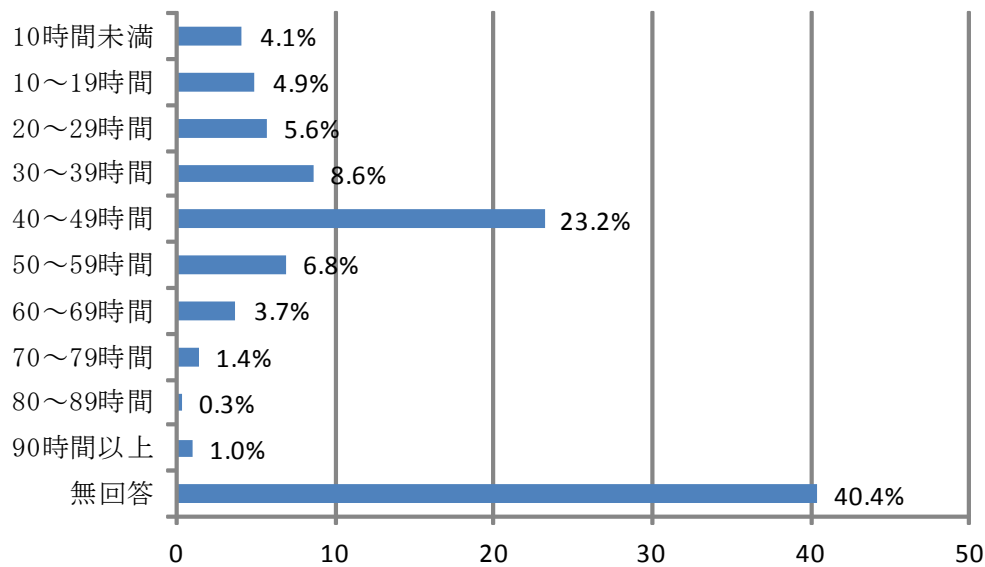
問20 あなたは現在どのようなお仕事をされていますか。



次に職種について尋ねたところ、「生産工程・一般作業」が15.0%、「販売・サービス」が12.8%、「専門職・管理職」が12.7%と15%前後の回答があった。

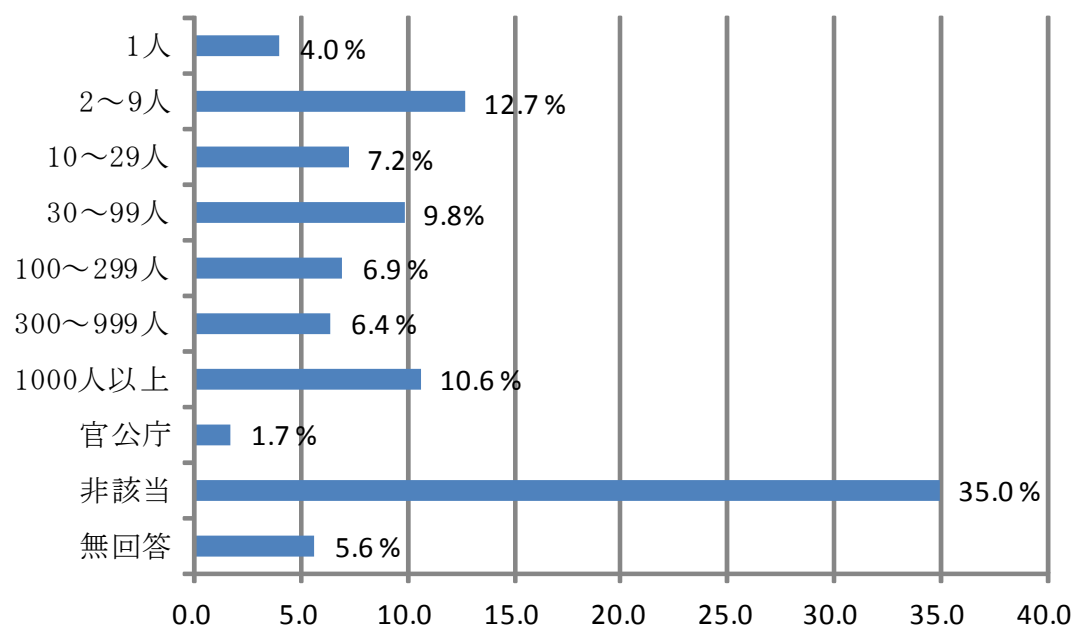
無回答が23.9%あったが、その他となっている23.8%の中にも主婦、退職者が含まれる。

問21 先月は平均して週に何時間働きましたか。



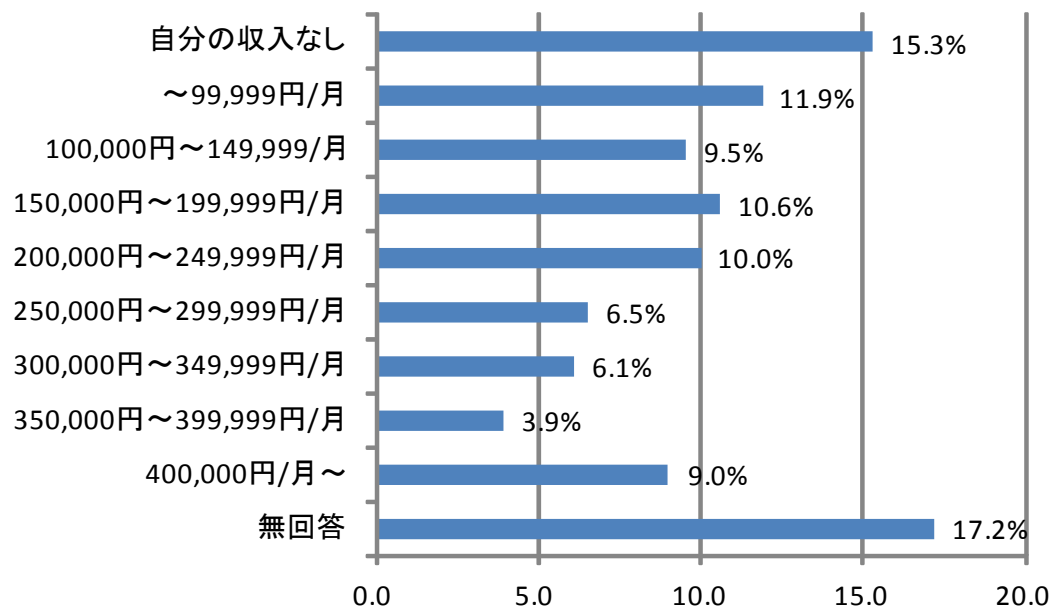
週にどのくらい働いているのか労働時間について尋ねると、40～49時間が23.2%で突出して多かった。

問22 従業員（働いている人）は、会社全体で何人くらいですか。



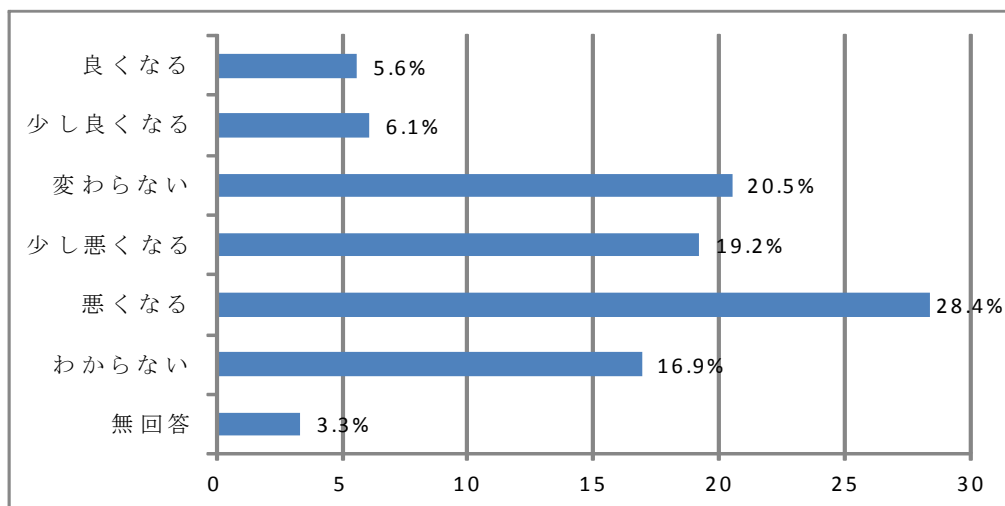
就労先の従業員数について尋ねたところ、最も多かったのは2～9人の12.7%であり、次は1000人以上が10.6%である。30～99人の規模との回答も9.8%だった。

問23 あなた自身の過去3ヵ月間の平均月収（税込）はいくらでしたか。



また過去3ヵ月間の平均月収については、自分の収入なしが15.3%で最も多く、100,000円未満が11.9%、150,000円～199,999円が10.6%と続く。400,000円を超える人は9.0%だった。

問24 5年後のあなたの生活状況は今よりも良くなると思いますか。それとも悪くなると思いますか。



5年後の生活状況について尋ねると、「悪くなる」との回答が28.4%であった。また「少し悪くなる」との回答が19.2%であり、将来に対して約4割が否定的な見通しでいる。先行きに対する不安の強さがうかがえる。